

どうなる「マイナ保険証一本化」

責任の所在があいまいになる

A 診療所勤務 斉藤正樹さん(24)

私が勤めているA診療所では、マイナ保険証を読み取るカードリーダーが使用できないトラブルが多く起きています。特にマイナ保険証はカードリーダーで読み込むと「認証」されたことになり、電子カルテに患者データが共有されないといったことが実際に起きています。

現在、A診療所には月に大体千人ほど患者が訪れますが、マイナ保険証の利用者はその中でも10人前後しかいません。また、マイナ保険証を持っている人も、今年の12月2日までの間にマイナ保険証のトラブルに悩んでいる状態です。現行の保険証が廃止されるとそれができなくなります。

また、「マイナ保

証の読み取り方が分からない」という方も来られるため、事務の人が一緒に対応を行うこともあります。そのため、受付に時間がかかるといっても起きています。

マイナ保険証は機械が確認するため、責任の所在があいまいになることも心配です。現行の保険証では、受付の医療事務の人が情報を目で確認して対応できるのですが、それができなくなります。

政府は現行の保険証を残すべきです。また、今の政府の方針でも、今年の12月2日までの間にマイナ保険証の使用はその後一年間可能で、そのことを各市町村も市民に周知すべきです。

「便利」とは程遠い現実

患者さんにとって使いにくい

B 病院勤務 小野夏希さん(35)

マイナ保険証の問題点として、患者さんがカードリーダーの使い方について分からないというところが挙げられます。マイナ保険証には個人情報が入っているため、「職員は(マイナ保険証に)触らないように」と言われました。そのため患者自身でマイナ保険証の読み取りをしなければいけません。

車いすの患者さんは、カードリーダーが自分の目の高さより上なので、読み取りを行う際に、職員の手を借りないといけません。すごく使いにくそうでした。患者さんが病気でしんどい中での操作が負担となるため、受診をしなくなるようなことが起きるのではないかと懸念しています。

また、医療助成がある

方(生活保護・身体障害者・子ども医療)は診察を受ける際、マイナ保険証と医療券(特定の疾病の治療の際に自己負担なしで受診できるようにするために発行される証明書)を持っていないと医療助成を受けられません。従来は保険証はそれだけでいいのですが、マイナ保険証の場合、なんらかのトラブルで使えないときは、健康保険被保険者資格証明書(協会けんぽの被保険者や被扶養者が健康保険証が発行されるまでの間、代わりとして使用することができ書類)を持って行かなければいけません。

そのため、マイナ保険証に一本化されることにメリットは感じられないというのが現状です。

今年12月2日から、現行の保険証(紙・カード)の新規発行が停止され、マイナナンバーカードに保険証をひもづけた「マイナ保険証」への移行が政府によって推し進められています。しかし、一方で、マイナ保険証をめぐるトラブルとその対応に、医療機関や利用者からも不安の声が上がっています。一体なぜ、マイナ保険証への移行を強引に推し進めているのでしょうか? 各地の医療機関で事務として働く青年にマイナ保険証の実態を取材し、日本共産党政策委員会の湯浅和己さんに、マイナ保険証一本化の背景を聞きました。

(文中の青年は仮名、栗山さつき記者)

健康保険証の資格確認が9種類

マイナ保険証を使う場合	顔認証と暗証番号も利用可
	顔認証マイナカード(暗証番号なし)
	顔写真なし(12月2日から)
	スマホに「マイナ保険証」搭載(来年春から)
マイナ保険証を使わない場合	現行の健康保険証
	資格確認書
マイナ保険証が使えない場合	マイナカード+資格情報のお知らせ
	マイナカード+マイナポータル画面
	マイナカード+被保険者資格申立書

「しんぶん赤旗」(11月7日付)を基に作成

トラブル改善されずそのまま

C 病院勤務 武田誠さん(34)

C病院では1日大体100~110人程が来院されますが、そのうち、マイナ保険証の使用は大体1日2~3人です。

マイナ保険証の利用の普及は進んでいません。窓口の職員も対応に慣れていませんし、患者さんも慣れていません。また、トラブルが起きた際の対応としても、健康保険被保険者資格証明書を管理している保険組合の地域によって対応がまちまちなので、今後、マイナ保険証関係のトラブルや混乱が想定されています。

もともとマイナ保険証はいろいろなミスやトラブルが起きていました。例えば、機械で対応できない文字が「●」と表記される問

題も当初から指摘されていましたが、改善されていません。そうした要因を潰しきれないまま、一本化が始まるようになっているため、現場では対応の煩雑さや負担増の懸念の声が大きくなっています。

マイナ保険証による本人確認が駄目だった場合、そうした患者を受診させないケースが出てくることを恐れています。

マイナ保険証への一本化は立ち止まってほしいです。保険証はみんなが使っているものなのに、全然議論もないまま一方的に「もう決まったから」という形で話が決まっていることは問題です。トラブルが起きている以上、一度立ち止まって考えるべきです。

本人確認が大変に

C 病院勤務

中西悟さん(24)

紙の保険証の場合、窓口の職員が手打ちで、期限を入力していました。マイナ保険証を読み込むカードリーダーの場合、「マイナナンバーで確認」のボタンを押すと、もともと設定していた期限が消えて、「9999」というように、正確な数字が表示されない状態が起きています。

また、システム上ではカードリーダーで読み取った患者情報が一覧で出てきます。そこから該当するデータを選ぶのですが、選択を間違えてしまうと、別の人の情報が登録されてしまいます。

今のところマイナ保険証の利用者が少ないため、それほど目立ったトラブルは起きていません。しかし、大勢の方がマイナ保険証を利用した場合、大勢のデータが一覧で出たため、そうなるの確認も大変なのではないかと思っています。